

## 研究結果報告書

本研究は、聞き取り調査とアンケート調査の結果から得たデータを分析し、考察したものである。

北九州市で行った聞き取り調査を通して、日本の高齢者の多くが、自己研さんのための様々な学習活動や地域ボランティア活動に参加していることが明らかになった。また、「高齢化社会を良くする北九州女性の会」などの民間組織や、地域にある生涯学習センター或いは地域福祉組織などの活動が果たす役割などが、高齢者が地域活動に参加するきっかけに大きく影響していることが分かった。

アンケート調査のデータに基づいて考察した結果の概要は以下のとおりである。

- 高齢者の生活実態について、調査対象者の60%以上の人は配偶者と同居している。(中国 65.3%、日本 64%)
- 一人暮らしの高齢者は中国(10.4%)より、日本の方が(22.7%)多い。
- 「結婚した子供と同居しているか?」という質問に対して、「同居したことはない」と回答した人は、日本(47.5%)より、中国の高齢者(19.4%)のほうが少なかった。
- 続いて、現在子供と同居していない人に対する「将来子供と同居したいか?」との質問に対しては、将来子供と同居したいと考えている中国の高齢者(20.8%)より、日本のほうが(8.4%)少なかった。すなわち、日本の高齢者よりも中国の高齢者のほうが「子供との同居」願望が強いことが明らかになった。
- 現在の健康状態に関し「日常生活のうえで誰かの援助が必要ですか?」との質問に対しては、「全く不自由なく過ごせる」或いは「少し不自由だが何とか自分で出来る」と回答した人は、中国では80.8%、日本では51.7%であった。
- 高齢者への援助実態について、「身の回りの世話や悩みの相談に乗ってくれる人、経済的に困った時、助けてくれる人は誰か?」との質問に対して、中日ともに回答の第一番は「配偶者」であった。「悩みや心配事があった時、親身になって相談に乗ってくれるには誰ですか?」との質問に対する回答の第一番は、中日ともに「配偶者」と「娘」であった。また、「経済的に困ったとき、助けてくれる人は?」との質問に対する回答の第一番は、中日ともに「息子」と「娘」であった。すなわち、高齢者にとって、私的な支援を期待し、また頼りするのは、やはり自分の子供であることが明らかになった。
- 地元(地域行政)からの支援に満足していると回答した人の比率は、日本(69.6%)より中国の方(29.6%)が随分と少なく、また、国からの支援に満足していると回答した人の比率も、日本(64.1%)より中国の方(29.1%)が少ないことが明らかになった。

以上

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- ① 高齢者の生活援助に関する中日比較研究, 李東輝, 中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム, 2013年8月19日～2013年8月22日、延辺大学 (発表予定)
- ② 高齢社会の社会参加と地域援助とのかかわりについて——北九州での調査をもとに——, 李東輝・富安兆子, 第一回中日韓比較国際シンポジウム, 2013年10月10日～2013年10月13日, 瀋陽航空航天大学 (発表予定)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- ① 高齢者の生活援助実態に関する中日比較研究、「言語文化研究」(延辺大学)、2013年9月 (投稿予定)
- ② 高齢者の社会参加と地域援助の関わりをめぐって——北九州での調査をもとに——、『社会学論集』(奈良女子大学)、2013年9月 (投稿予定)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

なし

研究成果の公表について(予定も含む) (英文)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- (1) A Comparative Study of the Life Assistance That the Elders Obtain in China and Japan, Li Donghui, International Symposium on the Comparative Study of Chinese, Japanese, South Korean and North Korean Language and Culture, Aug.19,2013—Aug.22,2013 Yanbian University (to be published)
- (2) The Connection between Elders' Involvement in Social Activities and the Local Assistance,----based on a surver made in Kitakyushu, Li Donghui・tomiyasutyouko, First International Symposium on the Comparative Study of Chinese, Japanese, and South Korean Language and Culture, Oct.10,2013—Oct.13,2013 Shenyang University of Aeronautics and Astronautics (to be published)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- (1) A Comparative Study of the Life Assistance that the Elders Obtain in China and Japan  
language and culture research (Japanese Research Centre of Yanbian University, Sept.2013 (to be contributed)
- (2) On the Connection between Elders' Involvement in Social Activities and the Local Assistance  
A collection of sociology (Nailiang Women's University), Sept.2013 (to be contributed)